ライオン通信
<URL>https://kooge.co/
Vol. 275　2026年11月10日発行

郡家コンクリート工業株式会社
〒680-0433 鳥取県八頭郡八頭町山上 363-17
TEL(0858)73-0500　FAX(0858)73-0535

全国で相次ぐ道路陥没
予防保全型インフラ管理へ向けて共につくる未来

国土交通省の最新集計（2025年度）によると、全国で発生した道路陥没は年間**1万1,227件**に上ることが判明しました。近年は毎年1万件前後で推移しており、管理主体別では都道府県管理が9,844件と全体の約87%を占めています。都道府県別では北海道（1,259件）、新潟県（913件）に続き、鳥取県が全国で3番目に多い**812件**を記録しており、近隣の島根県（147件）や兵庫県（289件）と比較しても高水準な数字となっています。

原因の内訳を見ると、側溝や集水桝などの**「道路排水施設」が41%**と最多を占め、下水道（11%）、上水道・河川施設（5%）が続いています。老朽化した排水路や配管の破損から水が漏れ出し、地盤の土砂を洗掘して地中に空洞を形成・陥没に至るケースが目立っています。埼玉県八潮市での事例や、米子市の鳥取大学医学部附属病院前の県道地下で確認された空洞事例のように、目に見えない地下の老朽化対策は今や共通の重要課題です。

Point
急速に進むインフラ老朽化に対し、事後対応から未然防止（予防保全）への移行が求められています。発注者と建設コンサルタントが連携を強化し、新しい技術やアイデアを柔軟に取り入れた体制づくりが期待されています。



こうした現状を乗り越え、地域の安全を持続的に守っていくためには、発注者である行政と、技術的パートナーである建設コンサルタントが一体となった新たな取り組みがカギとなります。

行政・発注者の皆様におかれましては、限られた予算や人手の中で日々インフラ管理にご尽力されていますが、今後は従来の事後対応に加えた「予防保全」への重点化や、効率的な点検計画の策定がより一層期待されます。

また建設コンサルタントとしても、路面下空洞探査技術や排水データの高度な活用など、最新技術を活かした積極的なアプローチや提案を行い、パートナーとして行政の課題解決を支えていく姿勢が求められています。

道路陥没の未然防止は、地域の暮らしを守る共通の目標です。発注者と建設コンサルタントが互いの知見を寄り添わせ、より効果的で実効性の高い「予防保全型インフラ維持管理」を共に作り上げていくことが望まれます。

【 出典 】
1. 道路陥没に関する全体データ・数値
『日本海新聞』令和7年（2025年）8月27日付記事「25年度道路陥没1万1千件 排水施設起因4割、鳥取812件」（国土交通省2025年8月26日発表データ）
2. 埼玉県八潮市での大規模道路陥没事故
国土交通省『令和7年版 国土交通白書』／埼玉県報道発表資料「流域下水道管に起因する道路陥没事故の発生について」（2025年1月28日発生）
3. 鳥取県米子市での地下空洞確認事例
『読売新聞』2026年1月20日付記事「鳥取大学病院前 県道の地下2か所に空洞を確認、破損部分から土砂流れ込み…国の下水道管特別重点調査」（鳥取県米子市2026年1月19日発表）

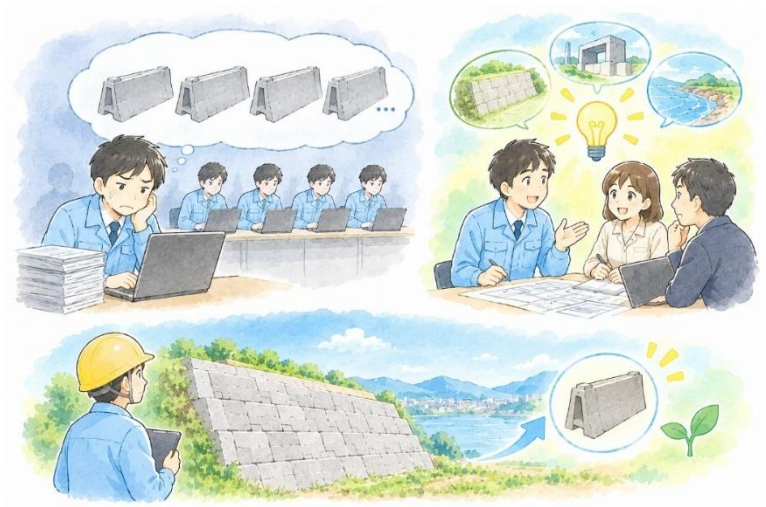
会 計 検 査



『公共工事と会計検査』の改訂８版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。
一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の**市川　啓次郎(いちかわ　けいじろう)氏**は昭和１９年生まれ。
元会計検査院　国土交通総括検査室長を務められていました。

会計検査こぼれ話：何でも全国一律



以前紹介した会計検査院調査官の全国一律居酒屋症候群であるが、私の懸念は、これと同じことが昼間の検査でも起こっていないかということである。時折、親しくなった受検庁の方々からこう指摘される。「今は全国一律の基準で担当者の頭はガチガチとなり、新しいものを取り込もうという意欲がなくなっている。これは検査院の調査官のせいである」というのである。

確かに、公共事業の分野に限って見ても、設計にしろ、積算にしろ、担当者の独自性が全く出せないシステムが構築されている。誰が担当しても、同じものが、同じ料金で、その上、それが同じ工法で出来上がるわけである。

「変わったことをやって失敗したら大変だ」

「その上、検査院の指摘を受けようものなら、首を洗わんとならんぞ」

高度成長時代と言われた昔、変わった工法と言われながらも、現在は標準となっているものが少なからずある。その多くは、比較的その方面に自由な雰囲気があった組織から発生したものが多い。そんな組織では、時にはその雰囲気が度を超えて、担当者の裁量で、業者の推薦する珍工法を、言いなりの価格で採用したこともあったかもしれない。そこには、無駄に見える経費もたくさんあったことだろう。

最近になって、新工法や新しい現場でのアイディアが推奨されるような契約方法が制度として採用されつつあるが、なかなか軌道には乗っていないのが現実のようである。

旅先でいい店を見つけるのにも、また、新しいことに挑むのにも、危険や浪費は付き物。そんなおおらかな時代は遥か過去のものとなってしまったようだ。（Ａ）

レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◇ 自立型ブロック　レベロック ◇◆

こんにちは！ ライオン通信のレオちゃんです！



今月は、**自立型ブロック『レベロック（水平積大型ブロック）』**をご紹介します！
レベロックは、河川護岸・道路・造成など様々な場所に使用できます。
間知ブロックに比べ多くのメリットがあり、また、現場打ちに比べ施工スピードが早く工期短縮になる製品ですので、災害復旧工事にも役立ちます。

今回は、レベロックの特長と施工方法をご紹介します♪
是非ご検討ください^^☆

特　長

◆ 優れた構造安定性！

ブロック練り積み擁壁としての壁体重量、一体性、コンクリート強度等は標準設計と同等以上となっているので、一般的な積ブロック（間知ブロック）と同様の使用が可能です。
構造は、**製品同士が凹凸でかみ合う事により、他のブロックよりさらに安定性が増します。**

◆ 施工が簡単、安全、早い！

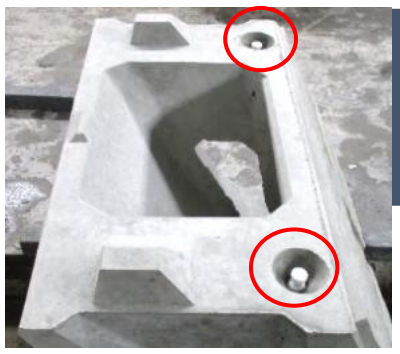
ブロック自体に勾配がついており、水平に設置するだけなので、熟練工でなくても**簡単・安全に短期間で施工が可能です。**

◆ 優れた経済性！

製品のサイズが1平方メートル/個と大型なため、重機施工となり、積みスピードが大幅にアップします。

◆ あらゆる環境にマッチ！

ブロック表面の模様は、自然景観にもよくなじむ石模様です。



天端部分には、吊り用アンカーが2個ついているので、水平設置も楽にできます。





基礎コンクリートの代わりに基礎ブロックを使用することで、現場打ちが不要になり工期短縮につながります。

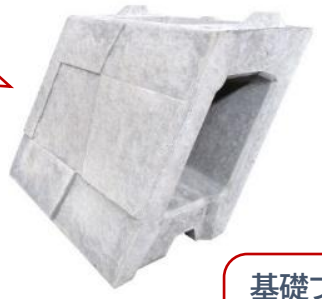


【レベロック 歩掛かり表】　（10m² あたり）

材　料	規　格	数　量	単　位
レベロック	35 型	10.00	個
一般世話役		0.10	人
ブロック工		0.30	人
特殊作業員		0.10	人
普通作業員		0.30	人
ラフテレーンクレーン	25t 吊	0.20	日
胴込コンクリート		1.78	m^3
諸経費		4	%



Bタイプ（縦半）
参考重量
255kg



Aタイプ（標準）
参考重量
435kg



Cタイプ（横半）
参考重量
205kg

基礎ブロック
参考重量
365kg





＜明度証明書 取得済＞

施工方法

Youtube に施工方法を掲載しています！
ぜひご覧ください♪



均しコンクリートを設置後、所定の位置に基礎ブロックを敷設、間詰めコンクリート打設
（基礎ブロックの場合）



据付け
※**製品同士がかみ合うように据付け**



１段目据付け完了



ブロックの裏側を埋戻し



間詰めコンクリートをブロックの半分程度の高さまで打設
②～⑤までを繰り返します



所定の段数まで施工完了後、間詰めコンクリートを天端まで打設



天端コンクリートの打設

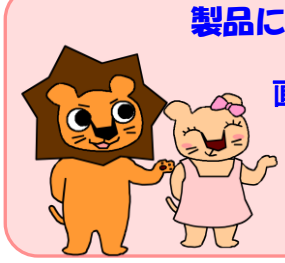




私都川(延命寺工区)河川災害関連工事(5 年災 229 号及び 230 号)(4 工区)



製品に関するお問い合わせ、資料請求は



直通電話：0858-73-0500
FAX：0858-73-0535
E-mail：info@kooge.co
までお気軽にどうぞ！